

イクボス十か条

- 1) **理解**: 現代の子育て事情を知り、部下がライフ(子育て・介護等)に時間を割くことに、理解を示していること。
- 2) **ダイバーシティ**: ライフ(子育て・介護等)に時間を割いている部下を、差別(冷遇)せず、ダイバーシティな経営をしていること。
- 3) **知識**: ライフ(子育て・介護等)のための社内制度(育休制度など)や法律(労基法など)を、知っていること。
- 4) **組織浸透**: 管轄している組織(例えば部長なら部全体)に、ライフ(子育て・介護等)を軽視せず積極的にワークライフバランスを推奨し広めていること。
- 5) **配慮**: 転勤(単身赴任)など、部下のライフ(子育て・介護等)に「大きく」影響を及ぼす人事については、最大限の配慮をしていること。



6) **業務改善**: 育休・介休取得者などが出ても、組織内の業務が滞りなく進むために、組織内の情報共有作り、チームワークの醸成、モバイルやクラウド化など可能な手段を講じていること。

7) **時間捻出**: 部下がライフ(子育て・介護等)の時間を取りやすいよう、会議の効率運営、書類の削減、意思決定の迅速化、裁量型体制などを進めていること。

8) **提言**: 役員・経営者や人事部などに対し、部下のライフ(子育て・介護等)を重視した経営をするよう、提言していること。

9) **有言実行**: 「イクボスのいる組織や企業は業績も向上する」ということを実証し、社会に広める努力をしていること。

10) **隗より始めよ**: ボス自らワークライフバランス(仕事と生活の両立)を重視し、人生を楽しんでいること。

